

忘れていませんか 家庭とあなたの良心を



# 宮崎県親子劇場



6月11日、中央公民館において、午後1時30分から昭和58年度宮崎県親子劇場が開催されました。

これは、県と各教育委員会の主催で毎年実施されますが、本年度は県教委と山之口町・都農町・東郷町教育委員会で主催し、九州交響楽団を招き演奏会を行いました。

九州交響楽団(指揮/黒岩英臣)は、今年で30周年を迎え、各地での演奏活動に忙しい中、東郷町まで演奏会に来ていただいたものです。

当日は、小中学生を中心に約4百人の方々が参加し、なま、の演奏に聞き入っていました。

昭和58年 7月号 第383号

発行/東郷町役場・編集/企画財政課

浅藪の竹の垂枝の葉ごと葉ごと

赤らみ見えて晴続くかも

牧 水

\*町長所信表明\*

町民による  
町民のための  
町民の政治

＝6月定例町議会＝

私は、過ぐる四月の統一地方選挙の町長選におきまして、町民多数のご支持を頂いて町長に就任をいたしました。

すでに、五月開会の臨時議会に於て、就任のあいさつを申し上げたところでありますが、今ここに六月定例議会の開会にあたり、所信を述べ、付託を受けた向う四年間の政治指針を披瀝させていただきます。

今日、国の内外を問わず、政治情勢、経済情勢は、厳しさの一端をたどるばかりでございます。

政治的には、イデオロギー、あるいは政治体制の相違から、又、人種間の優越意識や排他的感情に起因をいたしまして、世界のいづれかの国において常に流血の争いが行なわれているところでありま

す。経済的には、アメリカを始め、欧州各国、さらには共産圏諸国をも含めて、まさに沈滞した景気の

中に世界がおかれている実情でございます。我が日本といえども、もちろんそのわく外たり得ることはできません。

かつて、経済的な高度成長を謳歌した我が国であります。丁度十年前の昭和四十八年暮れに來襲いたしました第一次のオイルショック以降、我が国の経済成長にも鈍化の影が差し込み始め、その後第二次、第三次の重なるオイルショックの波を受けて、世界的恐慌の時代が到來し、その禍中に落ち入つても、一向に復調の兆しすら見ることができない状況であると申されるのでございます。

この様な、国、内外の政治的、経済的な情勢下において、国内政治も、国政、地方政治の分野を問わず、財政的に非常なまでの緊縮度、節約度が要求されているところでありまして、一方においては、高令化社会の

到來。ますます細分化が進み、複雑多岐化していく行政機構の内容を考慮いたしますときに、今後の行政指向の難しさを痛感すると共に、その対応に苦慮するものでございます。

しかし行政は、これを静止してゐるものとして捕えるべきものではございません。動態として、常に新しいものを求めて前進していかなければならぬのでござい

ます。従つて、これを更に、今後、いかように前進させるべきか、又、させなければならぬか、そこに政策の重要な問題が生じて来るのであります。

私は、選挙戦を通じて五つの政策と、一つの政治信条を公約として申し述べ、訴えてまいりましたが、これからの四年間、誠実に約束ごとを守り、その一つ一つを、町政の上で実行に移していただくことを議会の方々にお願い申し上げます。

私は、第一に産業の振興、わけでも農林業の振興に意を注ぎます。農林業の振興策は、我が東郷町の置かれている立場から、町の基幹産業として従来から歴代首長が等しく提唱してきたところでござ

近頃の人口に減少してしま

これは一体なにに起因するものでありま

その理由は、町内に働く場所がない、農業をやつても魅力がない

その一つは、第一番で申し上げましたように、農林業の見直しを行い、その中に人口の吸収を図つていくこと

今日、我が東郷町には誘致企業として、メデキット注射針工場、和光コンクリートブロック工場を

又、ごく最近、三十二万平方メートルを有する東洋工業の用地の中に、マツダ輸送株式会社のモータープールの進出を見るに至りま

が、願わくば、町民等しく待望してやまなかつた自動車生産工場

の進出を、一刻も早からんことを念じ、今後においても懸命の努力をいたす所存でございますので、

東洋工業の誘致につきましては、ありがたいことに、知事におかれ

他に立地してくれる企業は無いが、国や県に働きかけ、或は又、直接

いづれにしましても、一方では農林業の中に、そして他方にお

我が東郷町は、二万一千八百ヘクタールという莫大な行政面積の中

特に坪谷川、耳川の右岸に横たわるスロープ状の丘陵地、又、立

金、あるいは受益者負担金など的高額負担を余儀なくされている現在において、必ずしも制度の効果を

たてて加えて、農産物価格の低迷に起因する農家所得の低位性が

又、振興策の内容といたしまして、前日の懇話会の意向をもくみ

試作を数年繰り返す中から、必ずや経営的に安定性のある定着作物の

もちろん作つた品物が、換金に

これらの多くの人々は、日の当たらない所で

福祉の名において、国家的加護は

第五に、教育環境の整備浄化を図る

歴代町長のお骨おりによりまして、全校、永久校舎の建設を見

しかし、この環境と言ふものは、ただたんに創られた施設や、ある

施設を利用して学問を究、教養を高め、人格を陶冶すると言ふ、その内容が問題となるのでありま

つながらる経済性のあるものでなければなりません。そこで経済団体とのタイアップ

従来、ともすれば失敗時の責任を転嫁されてはという様な懸念

農林業の振興もなしと断言できるところでござい

すなわち、農家、林家の所得向上、ひいては購買力の増強を図ること

第二に、町民の働く場づくりに努めます。かつて我が東郷町は、昭和三十

青少年の健全育成、言葉を変えれば、非行化の防止のための、

最近非行は低年化し、集団化し、粗暴化していく傾向があり、

都市近郊的な地位にある我が東郷町の

つい先日、我が町に高校生PTAの総連協が

最後に、政治姿勢の問題でございますが、私は対話と協調を基調にして、公平と平等の精神をもつて

私信を去り、常に行政目的を意識して

# 異動発令

昭和58年7月1日付で役場職員の配置転換が行われました。  
各課の職員は次のとおりです。  
《太字は今回の異動者です。》

課	課長・局長	補佐	主幹	係名	係長	主査	課員
総務	小林理教(兼富山貞夫)	寺原孝彦		総務係	(兼)寺原孝彦	海野修一 金丸暎江	三浦元生 岩田定夫 (兼)吉田宗蔵 中村千佐登 (兼)川原寿代 (休職)平野宇市
企財	小林謙一		矢野昌明	企画	(兼)矢野昌明		山口佐知男
画政				財政			平野久栄 西田宗吉(新採用)
税務	若林義和	畷原孝徳		課税	(兼)畷原孝徳	川越 洋	三浦信代
				固定資産			海野奮生
住		寺原弘勝		住民	(兼)寺原弘勝		海野雅彦 (兼)仁田優子
				福祉			植野浩人 小林英明(新採用)
民	畷原正義	橋口岩夫		保険年金	(兼)橋口岩夫	吉田重一	仁田優子
				衛生水道			山田重男 中野千穂
				保育園	鶴野内谷		(注)伊東ヒロヨ 黒木和江 (注)新名弘代 松岡美春
農	山本一正	沖田征郎		振興	(兼)沖田征郎	(兼)黒木昭幸 (兼)三浦正教	寺原政志
林				農業	荒砂建一	黒木昭幸 三浦正教	
		小野三千樹		林業	(兼)小野三千樹		吉田健二(新採用)
耕地	甲斐久生	新名淳一		計画	(兼)新名淳一		中谷 敏 黒木孝利 甲斐まち子 (兼)関野 勇
				工務	岩崎寿男		菊池輔弘
建設	寺原和正		衛藤州雄	管理	(兼)衛藤州雄		黒木勝己 井本岩根
				土木	(兼)寺原和正	椎田幹男	児玉 明
老人ホーム	本多茂雄			指導員		塩月悌二	阿萬富子 塗木里美
				寮母			佐藤百合子 菊池久美子 富山トキ子 寺原正子
				給食			塩月睦美 池田繁子 山田延子
病院	橋口幸一		井上蘇代子	事務			直野和志 赤木ツヨ子 海野真理
				レントゲン			井川幸雄 荒瀬登志江
				栄養士			岩崎文重 馬原ひとみ 青山恵子 中村マリ子 児玉洋子
				看護婦等			橋本シマ子 池口美都代 黒木美千代 中武やつ子
				運転手			池田正信 小林ミチ子 川越キヨ子 関野愛子
				調理員			
出納					黒木幸男	矢野恵美子	
農委	日高今朝利				荒砂建一		
議会	都甲哲郎						矢野 統
教育委員会	矢野森一郎	黒木一希		総務・学校	(兼)黒木一希		山床貞雄(新採用) 直野廣代
				社教	那須文美		海野茂実(兼)河野幸雄 井上文博(社指)仁田清志 奈須武行
				幼稚園	東郷寺	郷谷迫	2 1 1 矢野紀子 工藤厚子 黒木由美子 黒木洋子
				学校			(寺小)白川和代 (福小)塩月マサエ (越小)楠 麗加 (坪小)田中 馨 (東小)中野亜紀子(新採用) (寺小)橋口ヒサ子 黒木ヒサ子 (東中)池田慶子 (坪中)富山フヂ
学食調理	田代静夫			調理員			池内子エ 田口英子 鈴原 睦 奥 タツ子 甲斐咏子 塩月 嬰



収入役  
東村吉市  
(前総務課長)



助役  
木村映一  
(前教育長)

六月定例町議会に於て次の方が  
助役・収入役に承認されました。

# 助役・収入役決まる

以上申し述べて、向う四年間、託された東郷町政を執行するにあたりましての、私の所信を述べさせていただきます。

諸賢、ご各位のお引き立て、お力添えをよろしくお願い申し上げます。まして終わらさせていただきます。

# 青少年赤十字の活動

## 越表小学校

越表小学校が青少年赤十字(JRC)に加盟したのは、今年一月でしたが、毎年、登録をするため、昭和五十八年度の登録式が、去る五月二日に挙行されました。まだ、加盟してわずかの期間でしたが、青少年赤十字の精神にもついて、日常の生活の中で、望まれる人格と精神を自ら形成していくためのりっぱな活動が進められています。

青少年赤十字に加盟しての抱負や、活動の状況を全児童がつづけていますが、その一部を紹介いたします。

# J・R・C

## 越表小学校五年石田 かおり

赤十字に入ったのは、一月十九日だから、もう三、四カ月たちました。はいったときは、赤十字でどうゆうのかなあと思っていました。ちかひ、というのを読んで、ああ、こゆうことをしないといけないんだなあと思いました。今している活動は、あきかんひろいです。

毎朝、あきかんを二回は、ひろって、学校のペランダに、おいています。みんな、毎日ひろっています。四月八日から、二十八日まで、百三十八こあつまりました。わたしは、こんなにすてるとは、思いませんでした。やっぱり、赤十字に入ると、よかったです。

このまえ、赤江小の、おくつてきた、テープを聞いて、わたしたちのところは、人数が少なくて、JRCの、クラブは、つくってないけど、赤江小は、すごいと思います。赤江小よりも、活どうは、少ないけど、いっしょうけんめいに、越表小も、赤江小にまけないようにがんばります。

JRCのはたを見て、大きく、世界にはばたい、あのはたは、越表を、見まわしているように思えます。

赤十字は、スイスでうまれて、アンリー・デナンが、赤十字の父でした。そして、赤十字のはたは、スイスのはたにしています。赤十字にはいつてよかったです。

います。友達ができるし、いままでしなかったことも、よく分かるからです。

いまだしかなかったのは、あきかんひろい、ふるきつてあつめです。ふるきつては、五百何まいあつまりました。一人あたり、二百まいくらいなので、千まいいじょうは、あつめたいと思います。

あきかんひろいも、小学校を卒業してもしていきたいです。どこよりも、越表をごみひとつないところになりたいです。

赤十字にはいつているかわり、もつともつと、東郷町ぜんたいをきれいになりたいです。

わたしは、この、JRCに入るとよかったです。

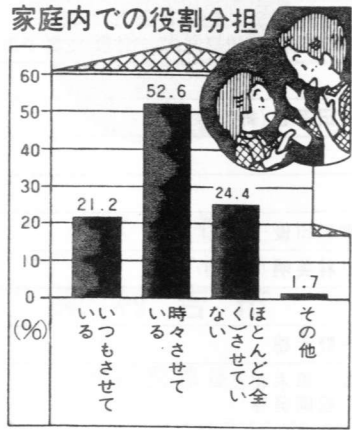


点描 (22)

子どものお手伝い

六月一日NHKテレビ「おおかさんと一しょ」で「子どものお手伝い」が放送されました。見られた方があると思います。私もこの放送を見て深く感銘しました。五才幼稚園児女の子のお母さんが、お母さんについてパン造りのお手伝いをするのです。お母さんは少しも面倒がらずに、あれこれと手ほどきをする。そして「上手だ」「上手だ」とほめてやるのです。そして出来上がったパンを二人でおいしくいただきます。子どもの

「昭和57年版青少年白書」から 家庭内での役割分担について見ると、約7割の人が子供に何らかの家事や家業の手伝いをさせています。



笑顔と、お母さんの嬉しそうなおまじりが私には美しく感じられました。そして今度は買物のお使いがはじまりました。五才の幼児はお母さんの言いつけを頭の中にながらぎながら、お金と手さげを持って町へ出かけました。先づ肉屋さんです。コロッケと〇〇を買うのです。店の主人が親切に應對をして、つり銭を紙袋に入れ「おとしてはいけませんよ」と幼児の手さげに入れてあげる。「サヨナラ」と可愛い声を出して店を出る。今度は電気屋さんだ。「イラッシャイ」店のおぼさんが背を低くして、幼児と買物の対話がはじまる。デンチと電球の買物のことがわかった。だがデンチの大きさがわからない。幼児は「これ位」と言っ小さいのを買う。電球もワット数が不明の様で、おぼさんは四十KWをわたすのです。この店で幼児が出した千円札に、

おつりを落さないようにと言っ手提の中に入れてくれた。家に帰ってお母さんに品物とおつりを渡す。デンチはよかったです。だが電球はまちがっていたが、便所の電球にすることで満足した。お母さんは「よくおつかいが出来ました」とほめて下さった。わが五才児でもお母さんのしつけ方で、こんな立派なお手伝いやおつかいが出来るのです。この幼児はお手伝いをする事によって、お母さんの日々の仕事に理解と手伝いの意義を幼児ながら知るのです。そしてお母さんに加勢することの楽しさを味わうことが出来るのです。私が皆さんに言いたいことは、既におわかりだと思います。近代常日頃から思っていることですが、なぜ子供は家の加勢をしないのか？学校から帰って来る、家があるに忙しくて加勢をしようとしないう。小学生、中学生、高校生は勿論のこと、自分の思う通りのスケジュールでその日を過ごす。勉強が第一かも知れませんが、それにしても余りにも子供を自由に過ぎてはいませんか。子供が悪いとは思いません。子供に手伝いすること、加勢すること、親が教えないのではありませんか。勤労と言うことは教育の中で大切な事柄になっています。皆さんよく吟味して下さい。 東郷町社会教育委員 都 甲 鶴 男

明るい郷土

知事選挙 7月31日 午前7時から午後6時まで

あなたが築く

駐在所だより

少年の暴力を追放しよう

少年の非行は、戦後第三のピークが依然として続き、極めて憂慮すべき状況にあります。次代をなう少年を非行から守り、その健全育成を図ることは、国民的な重要な課題です。少年非行の原因や動機は、多様にわたりますが、特に情操、しつけなどの教育上の問題や有害な環境などが少年に大きな影響を与えています。警察では非行少年等をできるだけ早く発見し、非行の芽を早いうちに摘みとるため、県・市・町・村・学校・PTAなどの関係機関団体と協力し補導活動を強化しています。特に家庭や学校、職場、

子供を水の事故から守ろう

七月、八月は、例年痛ましい水の事故が急増してきます。戦没者の遺族、戦傷病者、旧軍人、従軍看護婦等の皆さんのために、県の障害援護課主催により移動相談事業が左記により実施されることになりました。

恩給・弔慰金の相談の皆さん 戦没者の遺族、戦傷病者、旧軍人、従軍看護婦等の皆さん

年金、扶助料等について解らないこと、手続はどうしたらよいか等、専門的立場の職員が相談にのってくれます。遠慮なく相談にお出下さいませ。 日時 昭和五十八年八月一日 AM 10時～PM 15時 場所 東郷町老人福祉館

牧水と坪谷 (15)

塩月儀市

私の村にゴム毬というものを持ち込んだのは私であった。その程度から新しい遊戯などというものは絶無であった。夏は溪に集るが、四季を通じて我等は山や林に親しんだ。何という事なく、殆んど常に山中に入り込んでいた様に思う。冬から春にかけてはいろいろな係路をかけて鳥や獣を捕る。蔵ぜんまいを摘む、椎茸を拾う。拾うというのは、椎茸山の旧くなったのをばもう持主の方で構わぬので誰でも自由に取って取ることが出来た。秋は山の最も美しい時である。椎拾い、栗拾い、あけびとり、山柿とり、から始つてやがて茸取となる。秋の山には実に種々の茸が出た。しめじ、かぶたけ、ねずみたけ、こうたけ、などというのもあった。松茸は山深く行かねば取れぬので子供には手が及ばなかつた。それから私の最も好んで行ったのは山芋掘りであった。寒中にも鰻起しと称して溪中の岩を起し、其の下に潜んでいる鰻を追い出し、寒さに凍えて運動の自由ならぬに乗じて突いて捕える遊びもあったが、山桜の花が漸く咲き初めようという時に溪に上つて来る魚にふしいだというのがあった。このふしいだは特に色が綺麗であった。赤に青紫を混ぜた様な何とも云えぬ鮮麗な魚である。このふしいだの上つて来る頃から溪の遊びは始まるのだ。ふしいだの時季が過ぎればやがて鮎となる。鮎も実によく捕れた。多くは共釣りで、釣るといふよりは罟の尻尾につないだ針に引っかけてとるのである。われわれ子供ですら半日数十尾を釣ることが出来た。溪の瀬の岩から岩へ飛び渡つて釣つて歩く面白さはいま考えても身体がむず痒くなる。が、私の特に好んだのは斯くして飛び歩いて釣るよりも、樹のかげか岩陰にしゃがんで油のような淵の上に浮いた浮標に見入る釣であった。そして、友達と一緒に釣るよりも独りぼつちで釣るのを愛した。そのため、他の人の行かぬ様な場所を選んで釣に行つた。わざわざ握飯をこさえて貰つて山奥の溪に入り込む事が多かった (中略)

水の事故というのと、すぐにプールや海を思い浮かべますが、水による事故は、水泳中だけに起こるものではなく、私たちの日常生活の場においても、必ず事故の危険があるということを忘れないようにしましょう。

水遊びや魚とり

幼児の水の事故で最も多いのが海や川などの水遊びによるものです。昨年も県下で五件発生しています。

- 子供たちは遊びに熱中すると、そのことに夢中になって周囲の変化には頓着がありません。ですから子供のひとり遊びは危険です。特に次のことには注意しましょう！
●どろ底の池などでは遊ばない。
●池や川岸の草のおい茂っているところには近寄らない。
●丸太や漂流物の上では遊ばない。
●波の高いときは、岩場や波打ち

家の周囲

- 家の周囲にも危険なところがたくさんあります。子供たちは、危険なところほど興味をひかれ、危険なことの判断すらできません。近くの危険なところは、危くないように手を加え、また、危険なところには、実際に現場をみせておくのも事故を防止するひとつの方法です。
●自分の子供だけでなく、よその子供たちが、危険なところで遊んでいるのを見たら、一言声をかけて注意しましょう。
●ふたのない下水道
●使われていない井戸
●ため池や用水路
●さくや困いのない池や堀

部員募集

町卓球部では部員を募集しています。

気がるに、誰れでもできる卓球をあなたもやってみませんか！

練習日……毎週水曜日 午後8時～10時 場所……町中央公民館 部長 渡辺 晃 ▼申し込み・お問い合わせ・連絡先 小野田 海野 雅彦 TEL (自宅) 2404番 (勤務先) 2111番



### 移動相談

宮崎県福祉生活部障害援護課では、戦没者の遺族、戦傷病者、旧軍人、旧陸海軍従軍看護婦等の皆さんへ恩給、扶助料、年金、特別弔慰金等についての移動相談を、左記日時により開催しますのでご相談下さい。

日時 8月1日  
午前10時から15時まで  
場所 老人福祉館



### 行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄、電々公社、専売公社、公庫公団、事業団などの仕事、県・町などの仕事に対する苦情、要望などとりあげ

て相談に応じております。次の定例相談日は左記のとおりとなっております。当日以外は自宅で受付けています。(電話可)

一、日時 8月16日 9時～15時  
二、場所 東郷町老人福祉館

東郷町行政相談員  
山口俊一

### 母子家庭医療を受ける方へ

#### 1. 母子家庭医療の目的

母子家庭の医療費の一部を助成することにより、母子家庭の健康増進と福祉の向上を図ることを目的としています。

#### 2. 母子家庭医療の対象となる方

(1) 母については、20才未満の者を扶養している配偶者のない女子  
(2) 児童については、義務教育終了前の児童(父母のない児童を含みます)  
ただし、母の所得が児童扶養手当法に定める額以上の方は対象となりません。

#### 3. 対象となる医療

対象となる医療は、保険の対象となつている入院及び入院外(歯科を含みます)の医療に限られます。したがって、保険対象医療とならない、電機器具使用料、付添看護料、

### 今月の税金 固定資産税二期 納期限8月1日

(医師が認めないもの)、おむつ借上料等は、対象となりません。

#### 4. 助成の方法

医療機関で、治療を受けた場合、受診者が一時立替払いを行ない、後で、その医療機関の領収書をもつて町に助成金を請求することになります。助成金の支払い方法については、請求した方が受領しやすいように、原則として口座払いをすることにしています。また、領収書は、受診の都度医療機関等でもらうことが望ましいのですが、入院外については、受診回数が多くなりその都度領収書をもらうことは困難と思われれますので、一ヶ月分をまとめて翌月十日以降に領収書をもらうようにして下さい。

#### 5. 医療費の本人負担

母子家庭の方が受診に際し、医療機関に支払った額のうち入院の場合一入月四千元、入院外、医科にあつては一入月二千元は、受診された方が、負担していただくことになって

#### 6. 他法との関連

法律等、他の諸制度において

医療費の助成が行なわれているときは、それらの制度で医療を受けてもらうことになっています。

#### 7. その他

制度の内容、その他具体的な手続きについて不明な点がありましたら、住民課福祉係までお問い合わせ下さい。

### 善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

▽羽坂の高山恵美子さんから

(重幸さん 36才ご死去)

▽福瀬の岩田サナエさんから

(繁さん 62才ご死去)

### 心配ごと相談

毎月第三火曜日を心配ごと相談日として、(八月十六日)老人福祉館で相談に応じておりますからご利用下さい。

### まちのうごき

人口	6,504人	(△5)
男	3,107人	(△3)
女	3,397人	(△2)
世帯	1,777戸	(2)
58年6月1日現在		
( )は対前月比		

### 5月届出分

#### 出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
橋口久美子	喜一郎	小野田
福谷さつき	集	小野田
川越晃	和憲	鶴野内
高森陽子	牧夫	福野瀬
矢野信介	信平	小野田
橋口麻美	良一	小野田
		寺迫

#### 結婚おめでとう

氏名	住所
福良公一	小野田
水永伸一	門川町
矢野宗一	坪谷
右田弘子	宮崎市
那須悦信	坪谷
川越悦子	福野瀬
安藤義郎	日向市
藤原のり子	福野瀬
黒原克己	寺迫
松村菜穂子	西都市

#### ご冥福を祈ります

氏名	年令	住所
高山重幸	36	羽坂
甲斐藤男	74	下渡川
酒井郁子	57	坪谷
黒木繁松	97	仲深